

早期景気観測調査

【6-7月期 調査結果概要報告書】

平成29年8月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成29年7月14日(金)～31日(月)
4. 調査対象： 当所会員141事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 100件
7. 有効回答率： 70.9%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【6－7月期の動き】

**業況は2期連続で小幅な悪化。
業況好転の業種も小幅な改善にとどまる。
向こう3カ月の業況は、改善の見通し。**

6－7月期の全業種総合の業況DIは、▲27.0（前期比▲3.2ポイント）となり、2期連続の悪化となった。売上DI及び採算DIが2期連続の悪化となった一方で、仕入単価DIは6期ぶり、従業員DIは3期連続の改善となった。金融貸出しDIについては、悪化に転じている。金融貸出しDIを除き、いずれの項目も小幅な変化にとどまっている。向こう3カ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、建設業で業況改善、卸売業は横ばい、製造業、小売業、サービス業で業況悪化となった。

製造業の業況DIは▲34.6（前期比▲7.7ポイント）と2期連続の悪化となった。売上DIが改善に転じたものの、採算DIが2期連続で悪化している。仕入単価DI及び従業員DIは横ばい。金融貸出しDIについては3期ぶりに悪化に転じた。

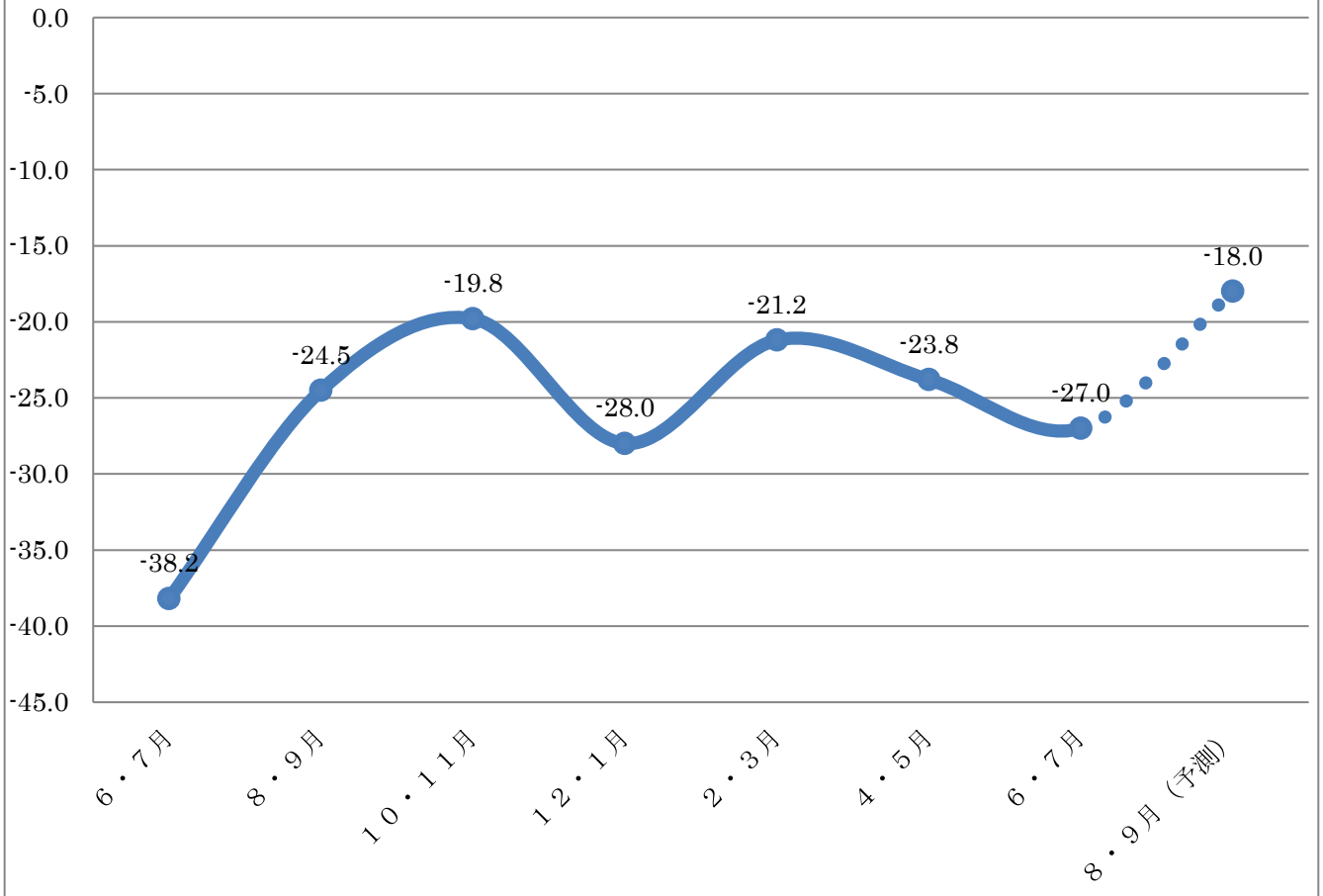
建設業の業況DIは▲35.0（前期比+0.3ポイント）と4期ぶりに小幅な改善となった。売上DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIのいずれも悪化している。唯一採算DIのみ改善に転じた。

卸売業の業況DIは▲11.8（前期比±0.0ポイント）と横ばいとなった。売上DI及び金融貸出しDIが、それぞれ悪化に転じている。採算DI、仕入単価DIはともに横ばい。従業員DIは改善に転じた。

小売業の業況DIは▲40.9（前期比▲2.4ポイント）と3期連続の悪化となった。唯一売上DIのみ改善しており、採算DI、仕入単価DI、従業員DI、金融貸出しDIはいずれも悪化している。

サービス業の業況DIは0.0（前期比▲6.7ポイント）と4期ぶりの悪化となった。売上DI及び採算DIがそれぞれ4期ぶりに悪化に転じている。一方で、仕入単価DIは20.0ポイントの大幅な改善、また従業員DIは5期ぶりに改善に転じている。金融貸出しDIについては横ばいとなった。

業況D I の推移







◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について








D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。
従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲27.0	▲18.0	▲27.0	▲27.0	▲32.0	15.0	▲3.0

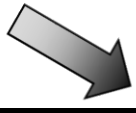
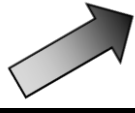
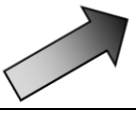
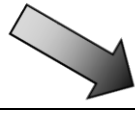
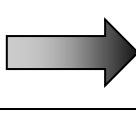
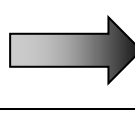
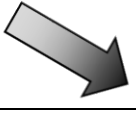
6-7月期の全業種総合の業況D I は、▲27.0 (前期比▲3.2ポイント) となり、2期連続の悪化となった。

項目別では、売上D I (▲25.7→▲27.0) 及び採算D I (▲26.7→▲27.0) が2期連続の悪化となっている。一方で、仕入単価D I (▲32.7→▲32.0) は6期ぶり、従業員D I (13.9→15.0) は3期連続の改善となった。金融貸出しD I (5.0→▲3.0) については、悪化に転じている。金融貸出しD I を除き、いずれの項目も小幅な変化にとどまっている。

向こう3カ月の先行き業況は、▲18.0と改善する見通し。

◆ 業種別

製造業

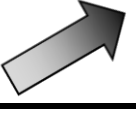
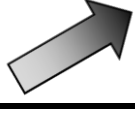
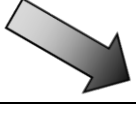
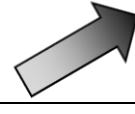
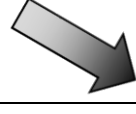
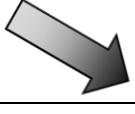
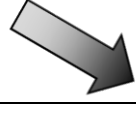
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲34.6	▲3.8	▲23.1	▲19.2	▲15.4	3.8	▲11.5

業況DIは▲34.6（前期比▲7.7ポイント）と2期連続の悪化となった。

項目別では、売上DI（▲26.9→▲23.1）が改善に転じたものの、採算DI（▲15.4→▲19.2）が2期連続で悪化している。仕入単価DI（▲15.4）及び従業員DI（3.8）は横ばい。金融貸出しDI（3.8→▲11.5）については3期ぶりに悪化に転じた。

向こう3カ月の業況は▲3.8と大幅に改善する見通し。

建設業



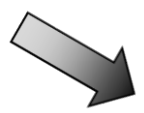


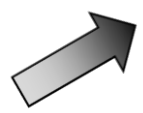
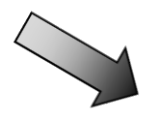
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲35.0	▲20.0	▲30.0	▲45.0	▲30.0	15.0	0.0

業況DIは▲35.0（前期比+0.3ポイント）と4期ぶりに小幅な改善となった。

項目別では、売上DI（▲29.4→▲30.0）、仕入単価DI（▲29.4→▲30.0）、従業員DI（23.5→15.0）、金融貸出しDI（5.9→0.0）のいずれも悪化している。唯一採算DI（▲58.8→▲45.0）のみ改善に転じた。

向こう3カ月の業況は▲20.0と改善する見通し。

卸売業

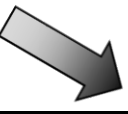
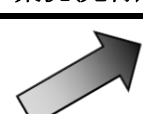
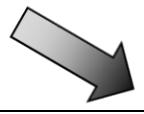
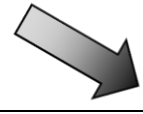
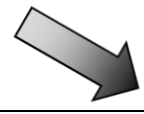
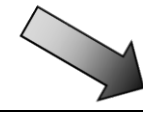
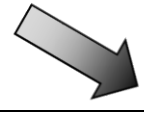
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.8	▲23.5	▲11.8	▲17.6	▲52.9	58.8	5.9

業況D Iは▲11.8（前期比±0.0ポイント）と横ばいとなった。

項目別では、売上D I（5.9→▲11.8）及び金融貸出しD I（17.6→5.9）が、それぞれ悪化に転じている。採算D I（▲17.6）、仕入単価D I（▲52.9）はともに横ばい。従業員D I（41.2→58.8）は改善に転じた。

向こう3カ月の業況は、▲23.5と悪化する見通し。

小売業

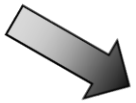



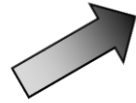
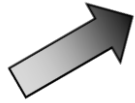
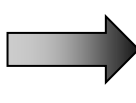
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲40.9	▲22.7	▲59.1	▲36.4	▲31.8	4.5	0.0

業況D Iは▲40.9（前期比▲2.4ポイント）と3期連続の悪化となった。

項目別では、唯一売上D I（▲61.5→▲59.1）のみ改善しており、採算D I（▲34.6→▲36.4）、仕入単価D I（▲23.1→▲31.8）、従業員D I（11.5→4.5）、金融貸出しD I（3.8→0.0）はいずれも悪化している。

向こう3カ月の業況は、▲22.7と改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
0.0	▲26.7	0.0	▲13.3	▲40.0	0.0	▲6.7

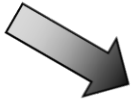



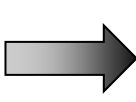


業況DIは0.0（前期比▲6.7ポイント）と4期ぶりの悪化となった。

項目別では、売上DI（6.7→0.0）及び採算DI（▲6.7→▲13.3）がそれぞれ4期ぶりに悪化に転じている。一方で、仕入単価DI（▲60.0→▲40.0）は20.0ポイントの大幅な改善、また従業員DI（▲6.7→0.0）は5期ぶりに改善に転じている。金融貸出しDI（▲6.7）については横ばいとなった。






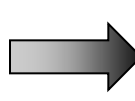

向こう3ヶ月の業況は、▲26.7と大幅に悪化する見通し。

◆ 業種別詳細

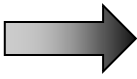

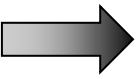

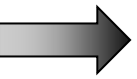
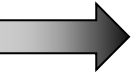
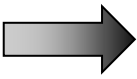
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



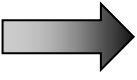
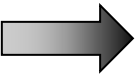

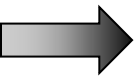

製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						







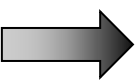
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

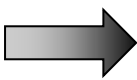




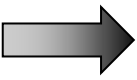
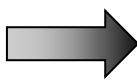
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						




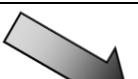


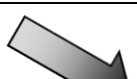
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

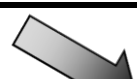

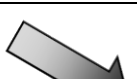

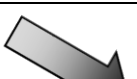


建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						



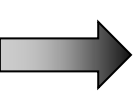



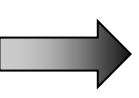
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						








卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

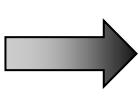
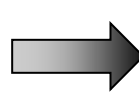


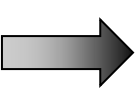

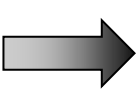
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


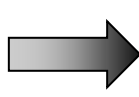




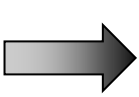
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						


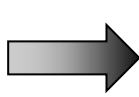





小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声（現状や直面している課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・今年度も変わりなく業績は推移しております。
- ・冠婚葬祭関連大口顧客の受注減少に加え、中元ギフトの不振（昨年比 88%）もあり業況は悪化。ただし、秋口以降は冷凍おせちの前倒し出荷や、ブライダルの年間メニューに入るなどで好転が見込まれる。
- ・昨年に続き、夏休みのバスツアーの集客でにぎわっています。しかし夏休みということもあり子供が多く売上は横ばいです。特定名称酒の新ラインナップが発売されることもあり、昨年より清酒は売上増を予定しています。また、果実酒の動きが出てきたので、今後良い状況になる可能性があります。

製造業（工業製品）

- ・①仕事量が多い ②人材不足 ③優秀な人材を特に希望
- ・水晶業界全体として自動車用水晶振動子、クロック用発振器が堅調です。当社におかれては、新機種スマホ向けに新製品の受注が増加しております。

製造業（宝飾）

- ・6月は展示会等も好調だったが、7月は低調。卸ルートセールは引き続き苦戦。8月 JJF に期待する。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事が少ない。中部横断道及びリニア関係も少ない。地元企業には仕事が回ってこない。県工事等の進捗が遅く、民間業者も設備投資ができない。そのため、他県へ移ってしまっている。
- ・物件数は多いが、競争の激しさの中、収益性に乏しい。
- ・首都圏の同業他社によると、都内の建設工事案件は非常に多く、活況を呈している模様です。
- ・大手の下請け会社は忙しいが、中小会社も少しは良くなりつつある。
- ・家電は、猛暑によるエアコンの入替需要が見られるが、温度が下がると急になくなる。工事は一定の量で確保されているが、お客対応がこまめに必要である。

建設業（鉄鋼）

- ・鉄鋼使用材の石炭価格やや上昇。山梨県の発注量はやや少ない。

【卸売業】

卸売業（食品）

- ・水産業界は自然相手の漁業の他、近年では外国との魚の取り合いとなっており、値段で持っていかれてしまうことも多くなっています。また、末端の小売店も客の魚離れが進み、一匹の単価の

値上がりなど厳しい現状です。

- ・夏季は菓子類の売上が下がるため、どうしても全体の売上が下がります。

【小売業】

小売業（食料品）

- ・当店は大手スーパーの進出等により売上は悪化。また、菓子業界も今年の猛暑で売上が悪いよう
です。

小売業（趣味・日用品）

- ・相変わらず厳しい状況です。よくなる材料が見当たらないです。

【サービス業】

サービス業（ホテル・旅館）

- ・インバウンドのお客様は甲府市内にはなかなか入ってこない。また、工事関係の人も短期間でな
かなか続かずにいます。観光都市甲府は、武田神社、昇仙峡、美術館くらいしかない。かつては
日本一の渓谷美の昇仙峡、その上の板敷渓谷の大滝など、きちんと整備し、甲府の観光スポット
として活用してもよいのでは。南アルプスも3年位前は登山の予約が多かったが本年は少なく、
今からを期待したいところです。

サービス業（観光）

- ・団体バスの動きがよくありません。
- ・新規お得意様が出来ても（増えても）、今までのお得意様の廃業等で（高齢化で）、差引き変わら
ずが現状です。
- ・6月は売上が増加しましたが、7月は減少しました。
- ・向こう3カ月はまだ読めない要素が多いです。

サービス業（飲食その他）

- ・うなぎ屋にとって最繁忙期を迎えました。丑の日に食べたいお客様は理解できますが、応じきれ
ません。一匹一匹精を出して鰻を裂きます。串を打って白焼きし、蒸し、タレをつけて焼き上げ
ます。時間がかかります。それに日の前の猛烈な熱。若くて体力のある職人でなければ勤まりま
せん。
- ・夏場の熱い時期は外食産業にとっては、業種にもよるが全体的に若干売上は落ち込む。

以上